

令和3年3月12日(金)
国土交通省 関東地方整備局
河川部 河川環境課

記者発表資料

**東京2020オリンピック・パラリンピックに備え、
利根川上流ダム群の貯水量を温存しています。**

**～1月15日から北千葉導水路を積極的に活用し、
ダムからの補給量を抑制しています～**

東京2020オリンピック・パラリンピック渇水対策協議会で策定した「渇水対応行動計画」に基づき、利根川上流ダム群の貯水量温存が図れるよう、令和3年1月15日より、北千葉導水路を積極的に活用しています。

3月10日までに合計約5,462万 m^3 の導水を行っており、利根川上流ダム群の貯水量温存※に努めています。

※ 利根川上流9ダムの貯水量35,212万 m^3 、貯水率64%【平年比141%】(3月11日時点)

今後も、引き続き気象状況を注視するとともに、水不足が生じないように、ダム等の供給施設のきめ細やかな運用を行っていきます。

発表記者クラブ

埼玉県政記者クラブ、竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、
東京都庁記者クラブ、千葉県政記者会、神奈川県政記者クラブ、茨城県政記者クラブ、
栃木県政記者クラブ、刀水クラブ・テレビ記者会、水資源記者クラブ

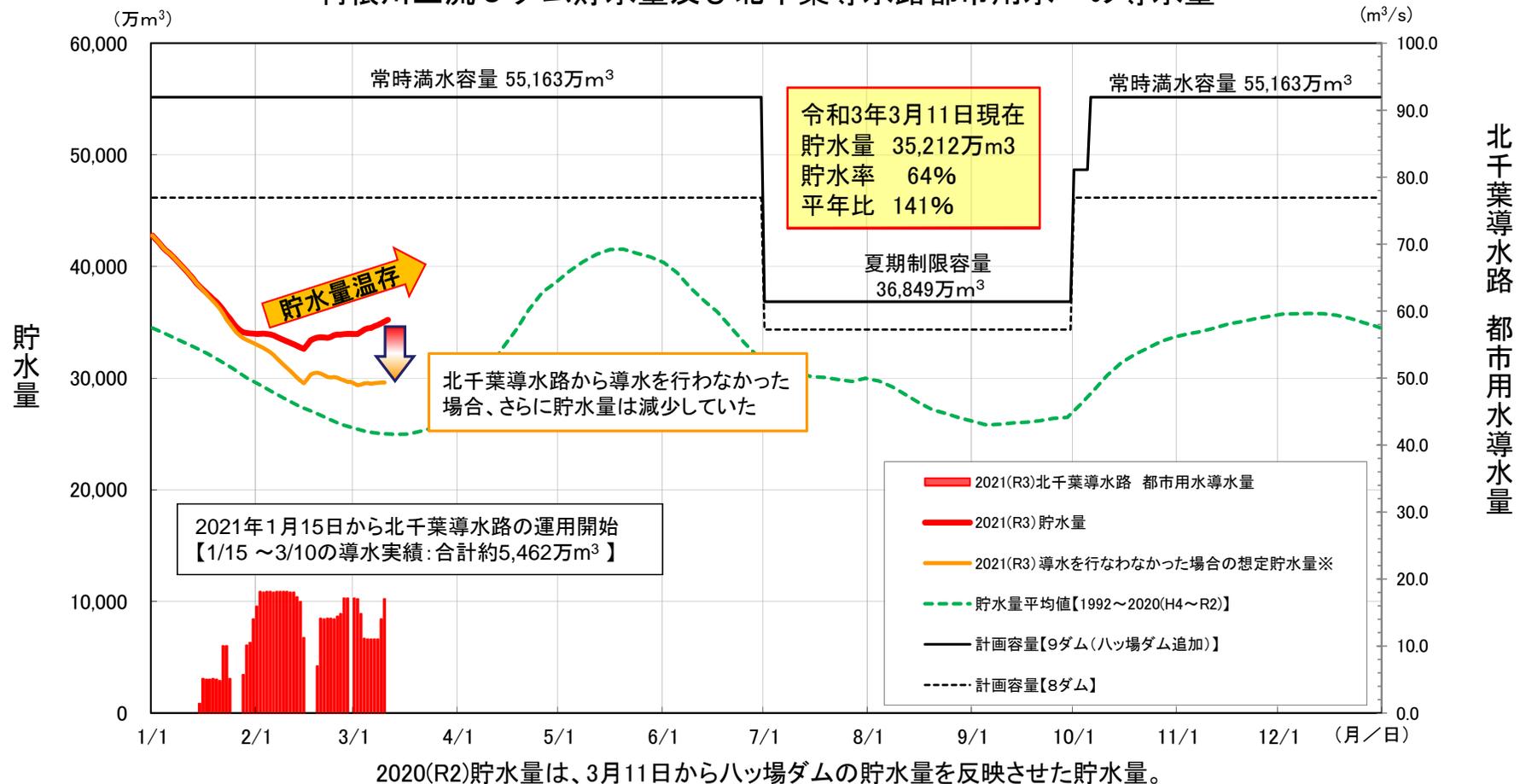
問い合わせ先

国土交通省関東地方整備局 (TEL)048-601-3151、(FAX)048-600-1379

河川部河川環境課長 あかみちしょうご 赤道正悟(内線3651)、建設専門官 つちやひでき 土屋英樹(内線3652)

- 東京2020オリンピック・パラリンピックに備え、ダム貯水量を温存するため、ダムの補給量を1月中旬から抑制するとともに、令和3年1月15日より北千葉導水路の積極的な運用を開始しました。
- 今年は、3月10日までに合計約5,462万 m^3 （草木ダム約1個分）の導水を行っており、3月11日時点での利根川上流9ダムの貯水量は35,212万 m^3 、貯水率64%【平年比141%】となっています。
- 引き続き、関係機関との協力のもと、渇水対応行動計画を適切に実行し、ダム群の貯水量の温存に努めます。

利根川上流9ダム貯水量及び北千葉導水路都市用水への導水量



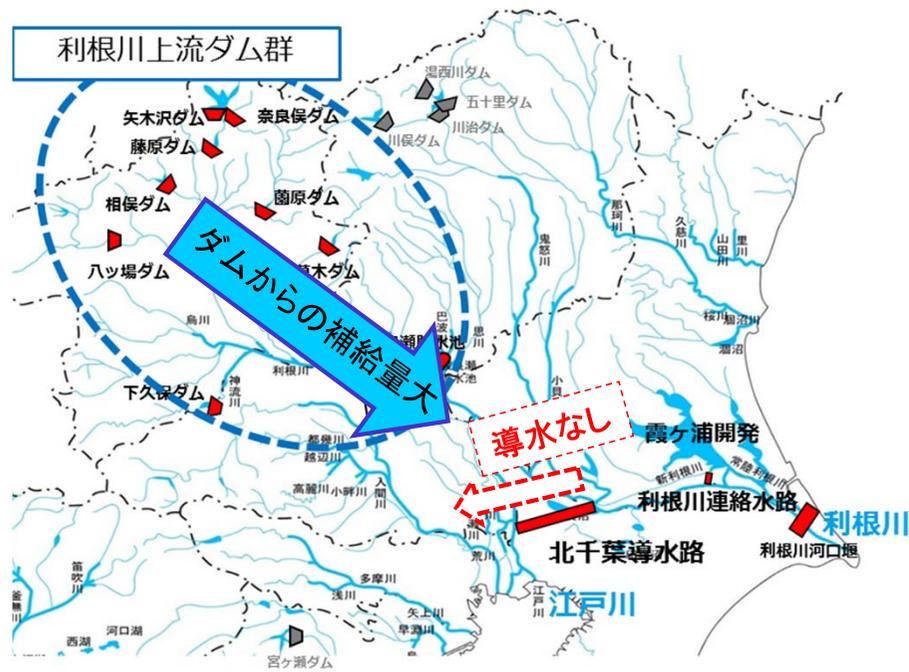
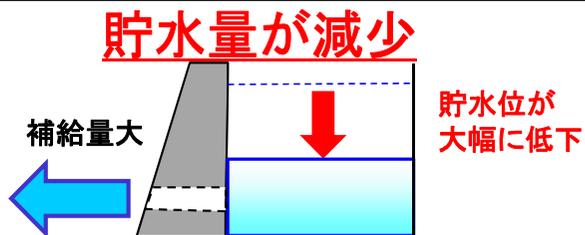
※2021(R3)導水を行なわなかった場合の想定貯水量(m^3) = 利根川上流ダム群(9ダム)貯水量(m^3) - 北千葉導水路による都市用水への導水量(m^3)

■北千葉導水路、利根川連絡水路等の下流利水施設の運用強化

- 利根川上流ダム群の補給に先がけて、北千葉導水路等下流利水施設を活用し、霞ヶ浦や利根川下流部に集まった水を江戸川に供給することで、上流ダム群の貯水量を温存します。
- 運転日数、及び導水量を増やすことで、ダム補給量を抑制し、ダム貯水量の温存を目指します。

北千葉導水路等運用「なし」

・ダムの貯留水を大量に補給するため、**貯水量が減少**



北千葉導水路等運用「あり」

・ダムの貯留水からの補給量を抑制し、**貯水量を温存**

